

「RESPECTion!シンポジウム」参加申込フォームにおける個人情報閲覧可能状態に関するお詫びとご報告

平素は「RESPECTion!」プロジェクトに温かいご支援、ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当事務局が開設いたしました「RESPECTion!シンポジウム」の参加申込フォームにおきまして、送信完了後の画面より他の申込者の回答内容の一部が閲覧できる設定不備が発生していたことが判明いたしました。

ご登録いただいた皆様の大切な個人情報をお預かりする事業者として、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

1. 発生した事象と原因

参加申込フォームの設定において、「回答の概要を表示する（サマリー機能）」が有効になっていたため、送信完了画面に表示される「前の回答を表示」のリンクをクリックすると、他の申込者様のお名前やメールアドレス等の回答概要が閲覧できる状態となっておりました。

2. 閲覧可能となっていた期間および対象規模

【期間】2026 年 8 月 24 日（月）13 時 30 分～9 月 10 日（木）18 時 47 分（※設定修正完了まで）

【対象件数】上記期間中にお申し込みいただいた 149 名様

3. 閲覧可能となっていた情報および表示形式

調査の結果、閲覧可能となっていた画面は、回答者ごとの申し込み情報が名簿形式（一覧リスト）で並ぶ画面ではなく、システム上の項目別集計画面（サマリー画面）であったことを確認しております。具体的に閲覧可能となっていた項目およびその表示形式は以下の通りです。

■ テキスト一覧として表示されていた項目

- ・お名前
- ・メールアドレス
- ・出演者への質問（任意）

※各項目に入力されたテキスト情報が、それぞれ独立した項目枠内に一覧表示されており、同一回答者の「氏名」「メールアドレス」等の情報が 1 つの行（名簿リスト）として紐づいて表示される形式ではございませんでした。

■ 全体集計グラフとして表示されていた項目

- ・ 性別
- ・ 年代
- ・ 居住地（都道府県）
- ・ ご参加人数
- ・ シンポジウムをどこで知ったか

※個人ごとの回答内容ではなく、全体の回答傾向を示す統計グラフとして表示されておりました。

【決済・認証情報について】

当フォームにおきましては、クレジットカード情報や銀行口座情報、パスワード等の決済・認証に関する情報は一切取得しておらず、これらに関する漏えいはございません。

4. 現在の対応状況

不備の発覚後、直ちに該当フォームの設定を修正し、現在は第三者から一切の回答内容および集計結果が閲覧できない状態への処置を完了しております。

5. 再発防止策について

今回の事態を重く受け止め、今後は各種フォームの作成・公開時における事前チェック体制を強化いたします。フォーム公開前における確認手順を厳格化するとともに、複数の担当者によるダブルチェックを徹底し、再発防止に万全を期してまいります。

6. ご登録いただいた皆様へのお願いとご注意

今回閲覧可能となっていた情報の中にメールアドレスが含まれております。誠に恐縮ではございますが、万が一、見知らぬ送信元からの不審なメールやスパムメール、詐欺を疑わせる連絡等が届いた場合は、メール内の URL のクリックや添付ファイルの開封を行わず、速やかに削除していただきますようお願い申し上げます。

対象となる皆様には、順次メールにてお詫びとご報告を差し上げております。

改めまして、皆様に多大なご迷惑とご不安をおかけしましたことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

RESPECTion! 推進委員会（事務局：産経新聞社）

【本件に関するお問い合わせ窓口】

RESPECTion! 推進委員会 事務局（産経新聞社内）

メールアドレス：respection@sankei.co.jp

※夜間や土日祝日にいただいたご連絡につきましては、翌営業日以降、順次迅速に対応させていただきます。